



# 馬宮西小だより

No.5 令和3年8・9月号

8月26日発行

住所 西区飯田新田189-2

電話 624-4041 FAX 624-2273

メールアドレス mamiyanishi-e@saitama-city.ed.jp

【学校教育目標】

まなぶ子・みとめあう子・やりぬく子

【みんなの合言葉】

にこにこ しっかり

## 希望をもって

校長 浅田 俊哉

暑い日が続くなと思えば、突然の豪雨。この天候が落ち着いてくれるのはいつなのだろうと家路の途中、日に日に早くなる日の入りに、それでも季節は動いているのだと思うこの頃です。

夏休みが始まったころ、2学期が始まるころには、感染拡大に歯止めがかかり、状況が好転すればよいのだがとと思っていましたが、緊急事態宣言延長の中、2学期スタートとなりました。

一昨日24日、保護者の皆様には教育委員会からのメールでお知らせしたとおり、この現状を踏まえ、さいたま市立学校では、学校の教室での授業とオンラインでの授業とを併せて行うハイブリット型の授業を実施することとなりました。どちらの形態で授業に参加するかは、それぞれのご家庭の判断となりますが、児童の学びが停滞することのないように、工夫をしながら実施していきたいと思えます。

学校便りでは今年度になってからも毎回、感染症拡大防止とその取組について触れていますが、ご存じのとおり、新型コロナウイルスのデルタ株は、感染力がこれまでのものよりも数段強く、小さな子どもにも感染のリスクが高いというものです。今学期も、学校での感染防止のための取組を徹底していかななくてはと、再度、再度、気が引き締まります。学校行事についても、中止、延期を余儀なくされていますが、社会科見学等の校外学習は、機を見て、感染防止対策を徹底し、ご家庭の意向も伺いながら、実施するようにしていきたいと思えます。特に、6学年は先年度、舘岩少年自然の家での宿泊体験学習が中止となり、さぞかし残念な思いをしたことでしょうかから、今年度は、何とかして、修学旅行には行かせてあげたいと思い、11月に実施で調整をしています。

さて、お子様からお聞きかもしれませんが、1学期の終業式で、2学期に児童一人ひとりと1対1でお話する時間をつくりますという話をしました。子どもたちには、まだ一人ひとりの名前が覚えていないのでじっくりと顔を見ながら話をしましょうと言いましたが、休み明けの児童一人ひとりの様子を知りたいというのも理由の一つです。夏休みの出来事と2学期がんばりたいことをそのときにきかせてくださいと伝えてあります。全児童との面談ですので、一人と話す時間は休み時間を使った2～3分間ですが、これからの学校生活で楽しみにしていること、不安なことなどを聴いて、助言や励ましの言葉をかけることができたらなと思い、楽しみにしています。

このような状況下でも、児童一人ひとりが、希望をもって、日々の学校生活を送ることができるよう、教職員一同頑張ります。ご家庭、地域の方々のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

